

## 第二章

## ムラの内と外

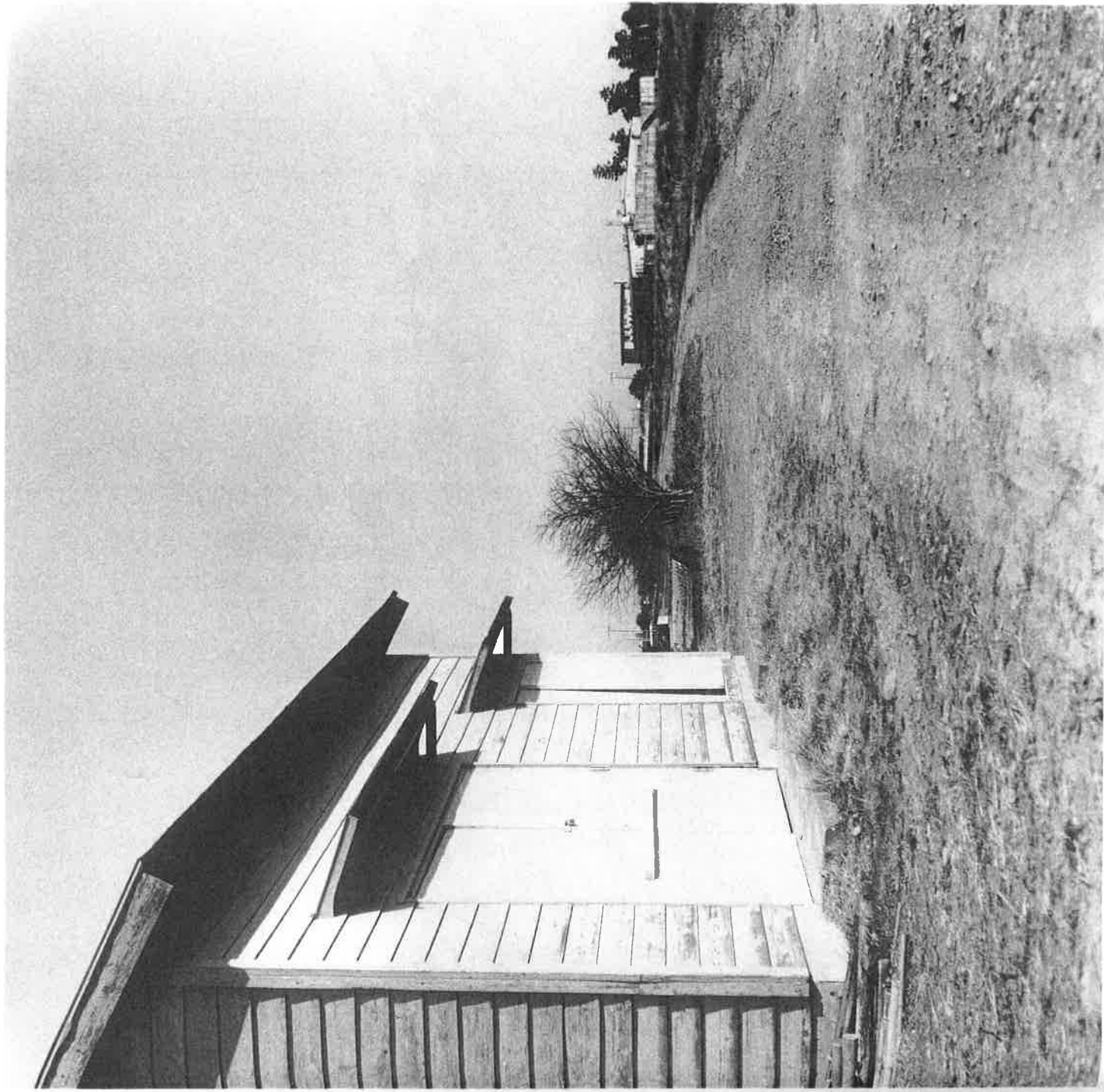
## 一 世間の境界

そこに定住し、生と死を刻みつけた人たちには、世間という言葉がある。この世間とはいわゆる外のことである。この反対にミと言う言葉がある。身内という言い方もする。この場合は、身内の反対は世間の人となるのだが、定住するものにとっては、暗黙の内に内側と外側の区別があるのである。

ムラ、あるいは部落というレベルで考える内と外の他、家にとっての内と外なども考えられるが、まずムラの内と外を考えてみることで、南部地区の共通した内と外が浮かび上がってくる可能性がある。

先の宮島きみさんは西は木屋川の向こうと、東は黒石川の向こうがなんとなく世間の気がすると言う。

近くの石田誉さん（大正十年生まれ）は、西に境界意識を持つのは前の川からで、向こう側の衆とはよく川をはさんで石合戦をしたと言う。また東は赤塚川が焼津町と小川村の境で、そこを渡ると焼津の小僧らがイナカツサーとはやしたたたので、きつくここが境界でむこうは世間だと思ったと語られる。和田の衆が前の川を渡ってうちの村に入るとやっぱ、イナカツサーってはやいたことも付け加えられた。石田誉さんの場合は男性ということもあり、子どもの時からその縄張り境界線が遊びの中で意識されていたこともあるのだろうか。その世間の境界は、大人になっても子どもの時の縄張りの線引きに沿っているのである。いずれにしても大小の川が世間とミ、村の内と外の境界になっているのが、特徴となっている。

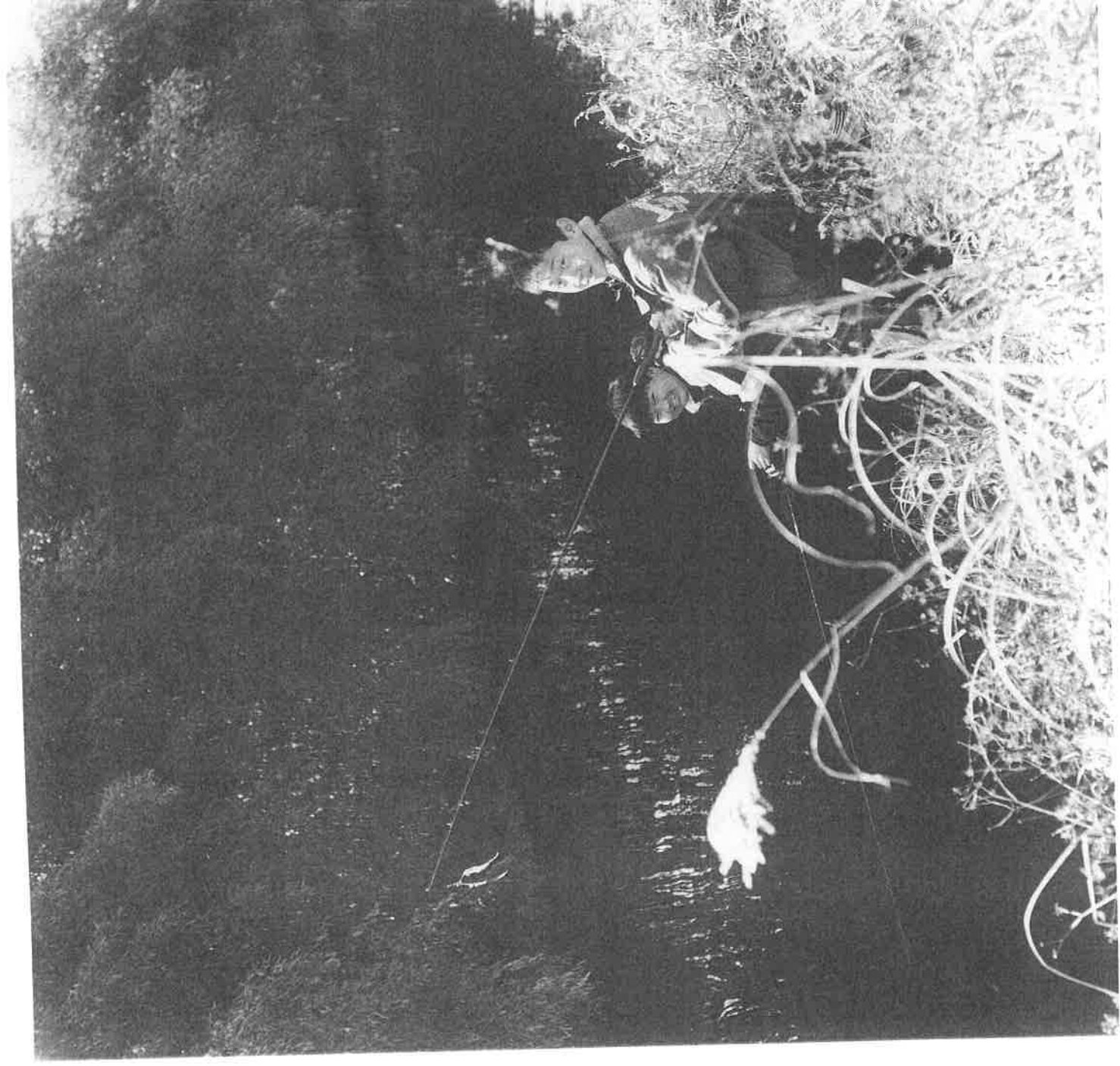




黒石川とはん







たもどりをする子供

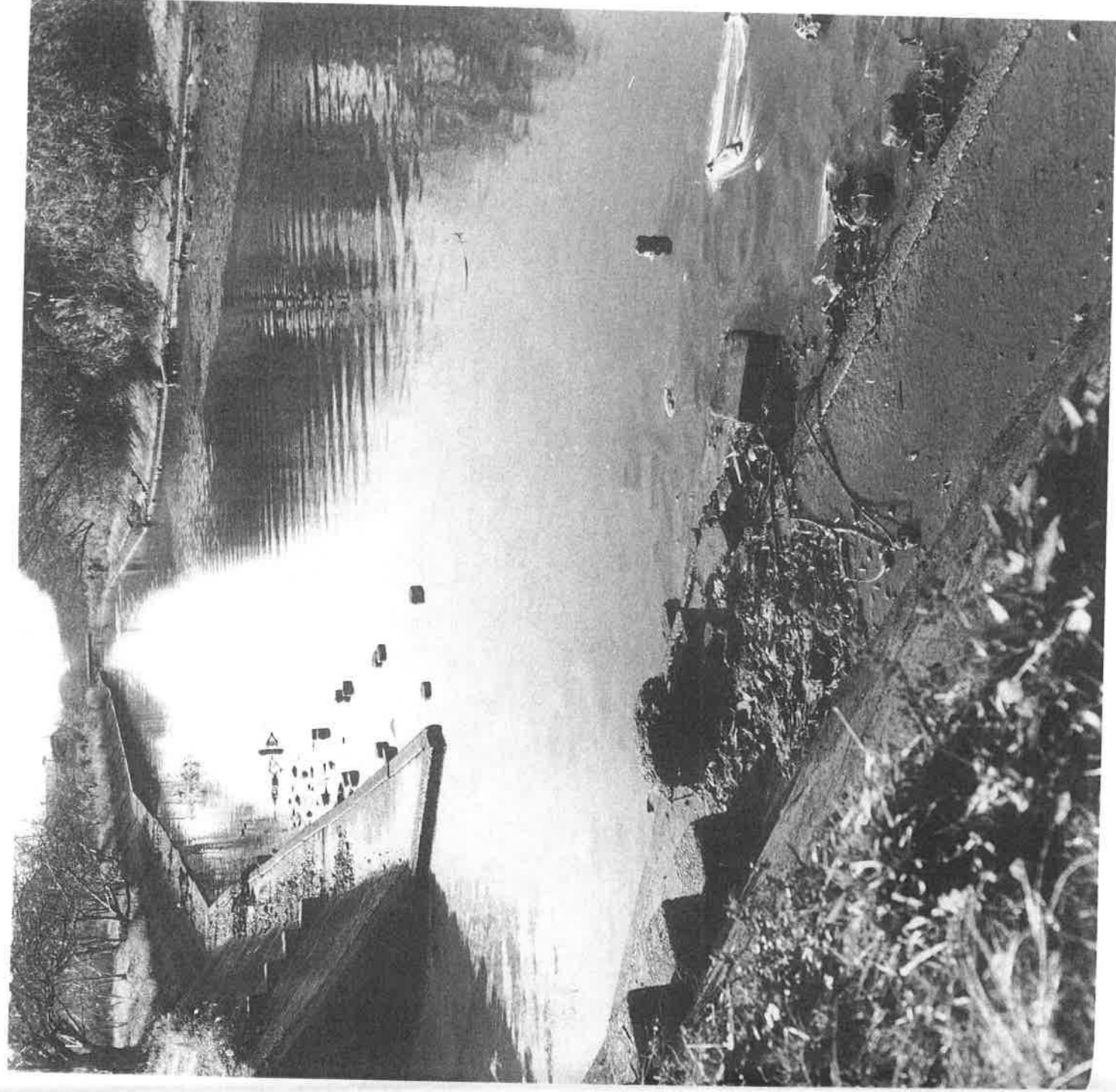


黒石川



土手でゴルフをする人





木屋川

## 二 心意の中の内と外

人にとっての故郷は、地平に引かれた境界線でのみ区分けはできない。心意としての故郷のエリアがあり、内と外がある。

きわめて親しみを覚える四季折々の祭りは、そんな心意の故郷、内と外を形成する主要素である。

宮島きみさんの場合は実際に行き、親しみのある祭礼は次の通りであった。

焼津の虚空蔵尊のだるま市、藤枝の清水さん、小川の地藏さん（旧六月二十三、二十四日）、焼津まつり（八月十三日）、水天宮さん（四月五日）、小川の熊野神社、通称下駄まつり（七月一日）、吉永の八幡さん、藤枝のお高根さん・・・などがきみさんの親しみある祭礼である。

このエリアはきみさんが先に語られた、世間のエリアよりずっと広い。一人の人間にとって内と外は単純ではないのである。

### 三 南部地区とその周辺の祭り

一月

二月

十三・二十三 虚空蔵さん(当目)

十七 牛の舌祭り(大住・大井神社)

二十八→日曜日 不動さん(三ヶ名)

三月

二の午 稲荷神社(田尻)

二十四 水神さん(三右衛門新田)

四月

三→日曜日 和田神社(田尻北)

五→日曜日 水天宮(石津)

五月

六月

三十・七月一日 那閉神社・熊野神社の下駄祭り(小川)

七月

八 お薬師さん(大住)

十四 津島神社(小川・熊野神社内、弥宜島)

八月

十六

船魂さん(本町)

二十四

天神社(小川・海蔵寺内)

一

おはつぼた(中新田) 弁天さん(中港)

十一・十二

雄津神社(焼津)

十五

八兵衛さん(小川・石津・中新田・中根新田・本中根・和田)  
源久さん(中新田)

二十三

地藏さん(小川・栴宜島)

二十四

花火地藏

九月

十六

芋祭り(三右衛門)

十月

一

御霊神社(小川・熊野神社)

九→十

大井神社(大住)

九・十

八幡宮(三右衛門)

十

琴平神社(小川)

十三→第二日曜日 大井浅間神社(中根)

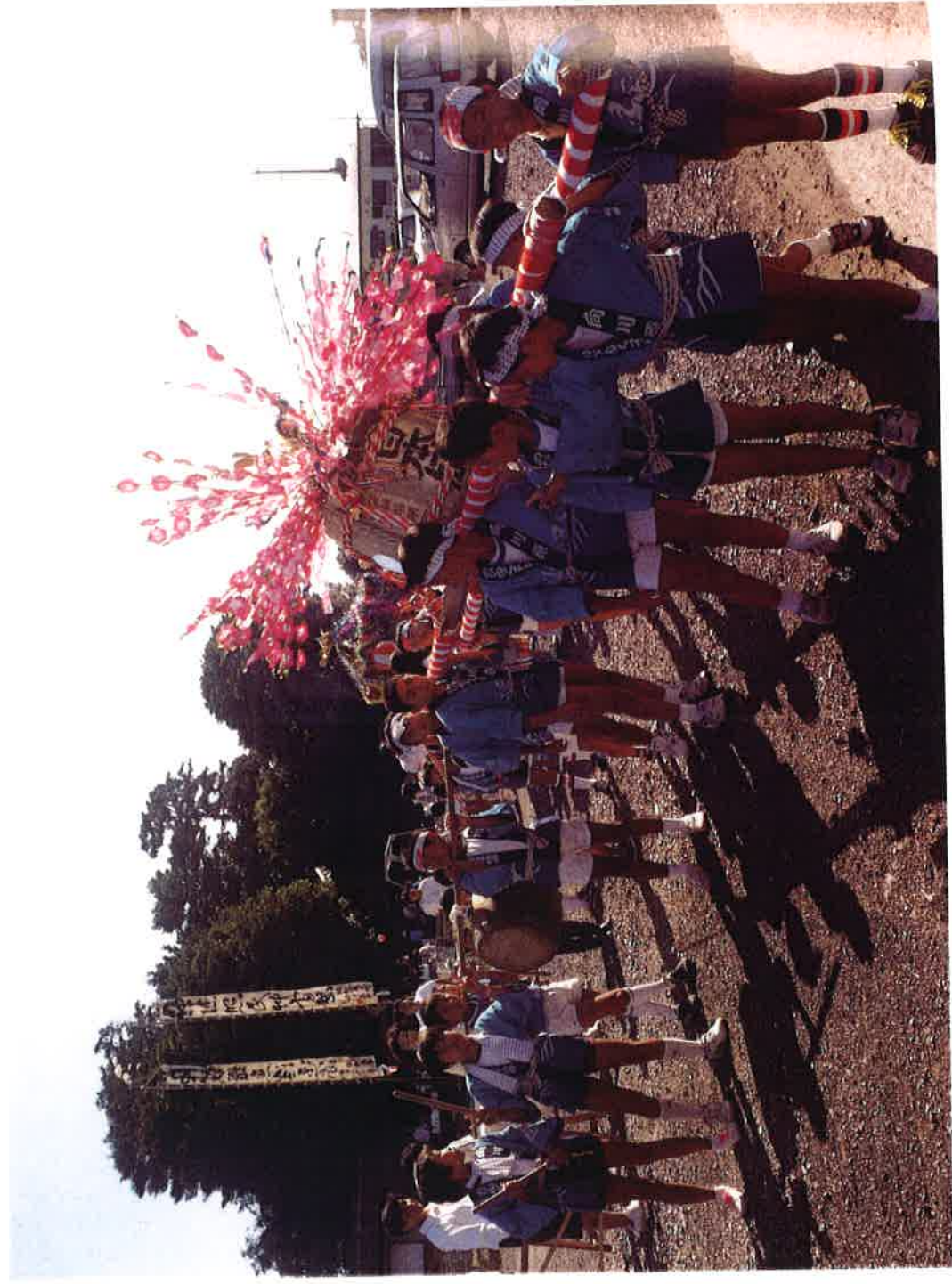
十五→十

八幡神社(与惣次)  
大井八幡宮(道原)



十二月  
十二月

- 十六→十 首塚稲荷(北道原)
- 十七→日曜日 熊野神社(小川)
- 十七→十 大井浅間神社(弥宜島)
- 十八→日曜日 大井浅間神社・津島神社(中根新田)  
大井浅間神社(本中根)
- 十九→日曜日 八幡神社(石津)
- 二十→日曜日 稲荷神社(中新田・神輿の御渡)
- 二十五→日曜日 三葉神社(田尻)
- 二十 恵比寿講(焼津)



花みこし 小川（琴平神社）



あま酒





げた祭り 小川（熊野神社）

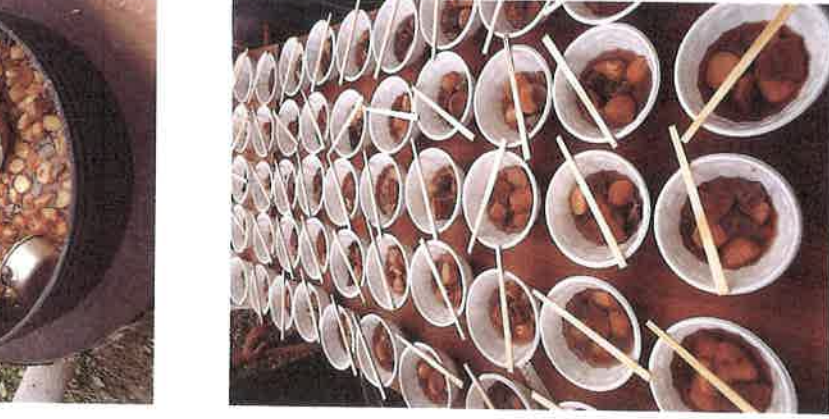
この祭りの日には、よく雨が降り、下駄をはいて出かけるために「げた祭り」の愛称がある。



小川の地蔵さん御開帳

新仏の着物が本堂にも吊るさされている。





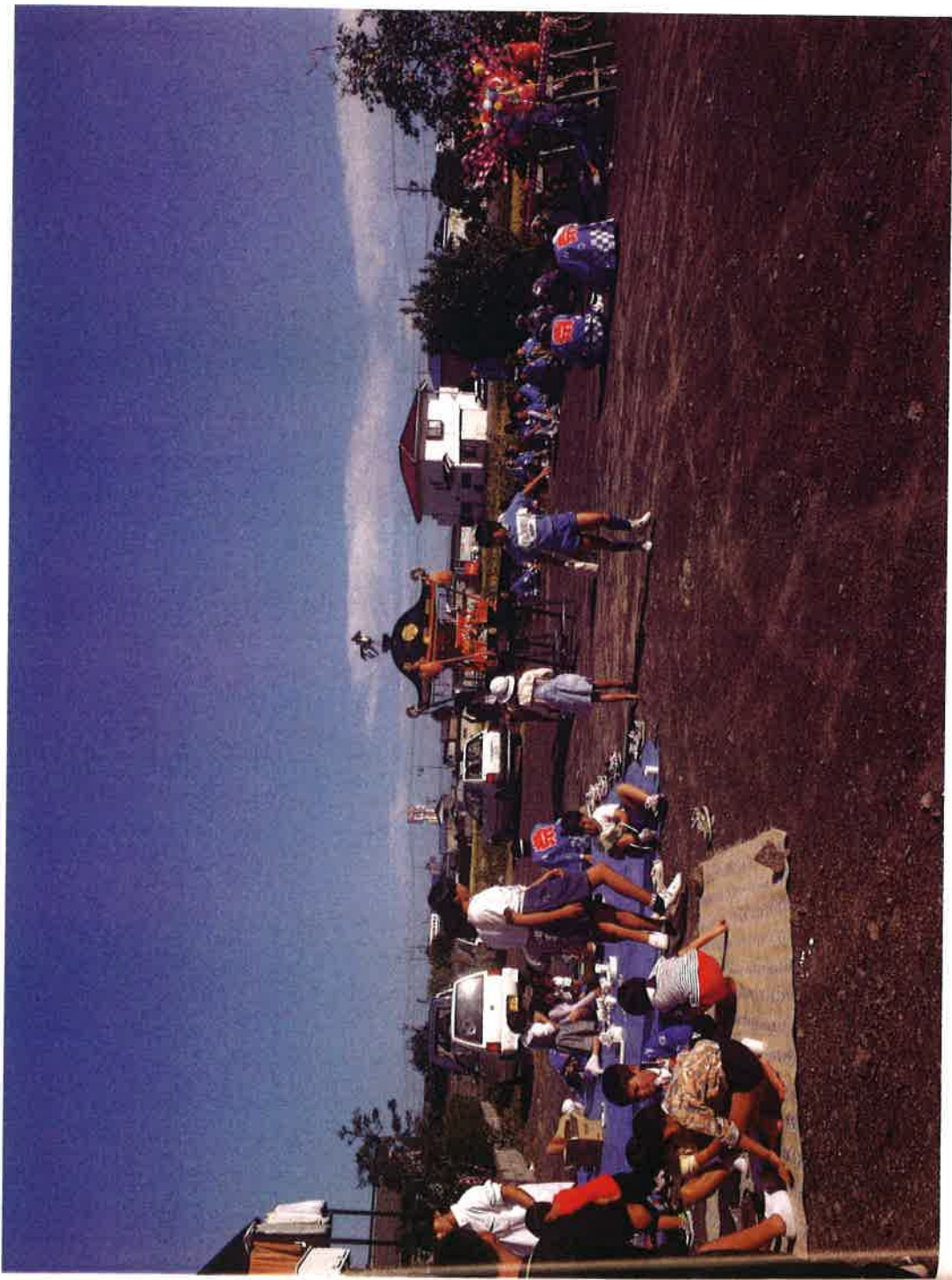
### 三右衛門新田の芋まつり

里芋はかつて貴重な現金収入源であった。収穫を祝い、大釜で煮た里芋が集まった村人に振る舞われる。





道原のちようぼろ



広場で休憩

与惣次





柵直島

ちようぼろ屋台





屋台とちょうぼろ 三右衛門新田（八幡神社）